



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月11日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 岡崎 隆 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,593	8.6	55	—	108	—	1	—
26年3月期第1四半期	8,833	△8.1	△162	—	△41	—	△133	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △23百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 386百万円 (△31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.02	—
26年3月期第1四半期	△3.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	53,836	26,161	45.4	590.19
26年3月期	52,628	26,013	46.1	586.33

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 24,436百万円 26年3月期 24,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	4.00	4.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	12.4	230	—	300	—	170	—	4.10
通期	44,500	6.7	1,000	54.1	1,070	31.6	600	—	14.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	45,229,332株	26年3月期	45,229,332株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	3,825,024株	26年3月期	3,824,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	41,404,508株	26年3月期1Q	41,424,208株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新興国経済の停滞感を伴いつつも、欧州で持ち直しの動きが続いたことや米国経済が回復基調を維持したことにより、緩やかな回復の動きが見られました。

一方、わが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費や生産に弱い動きが見られたものの、その影響も薄れつつあり、また、雇用情勢や企業の設備投資に改善の動きが広がり、景気は緩やかに回復しております。

当社グループの主要需要先である建設・建築業界では労働力不足、資材価格の上昇による建設工事の遅れなどがありましたが、産業機械業界では設備投資の増加、造船業界では手持ち工事量に回復が見られました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は95億93百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益は1億8百万円（前年同期は経常損失41百万円）、四半期純利益は1百万円（前年同期は四半期純損失1億33百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月に東京で開催された2014国際ウエルディングショーに、世界初となる遮光壁が不要の門型5kW「ファイバーレーザー切断機」を展示するとともに、ガス・溶接機器・切断機器の一体販売を目的として、高品質溶接用混合ガス「スーパーシールド」を使用したアルミ溶接やサブマージアーク自動溶接機「ウエルスター」などの実演を行い、大きな反響を得ることができました。

海外においては、インド・タイ・インドネシアなどアジア各国の展示会へ参加するとともに、6月に中国で開催された北京エッセンショーに「ファイバーレーザー切断機」を出展し、多くの引合いを得ることができました。

生産面においては、国内では「ファイバーレーザー切断機」の発振器高出力化を進めました。一方海外では韓国で新型プラズマ装置「SUPER-400 PRO」の出荷を開始しました。

その結果、売上高は35億66百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は84百万円（前年同期はセグメント損失1億24百万円）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、酸素・窒素などの主要ガス販売量は、鉄鋼・電子を中心に全般的に低調な推移となりました。また、電気料金の上昇を受け、価格改定に取り組みましたが、十分な成果をあげることができず、利益は大幅に減少しました。さらに、ヘリウムの販売量は価格改定に伴う需要減少が見られ、大幅に落ち込みました。

営業面では、2014国際ウエルディングショーにおいて、水素ベース溶断用混合ガスや高品質溶接用混合ガスを中心に生産性向上・高品質・環境を積極的に提案し、大きな反響を得ることができました。

生産面においては、容器管理システムを更新し、放置容器・不明容器撲滅に向け、容器RFタグ（ICタグ）の取り付けを開始しました。また、ガス製造工場において、人材育成や製造設備のメンテナンスを実施し、保安確保、安定供給、品質確保、原価低減に努めました。

医療分野においては、酸素濃縮器のサービス部門の営業強化を行い、売上は増加しました。また、睡眠医療分野においても、「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）が契約を伸ばしました。さらに、「ヨックスディスポ・オペ」（手術室用真空吸引器）は感染管理面での評価も高まり、売上は堅調に推移しました。

その結果、売上高は38億71百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は1億77百万円（同14.2%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、最大の需要先である建築・鉄骨業界での大型再開発ビルや物流倉庫などの工事量増加に伴い、鉄骨ファブリケーター向けの溶接材料の販売は増加しました。

溶接機器においては、2014国際ウエルディングショーにて、溶接コストの削減、溶接品質向上を目的とした溶接プロセスを実演し、多くの引合いを得ることができました。また、5月に個人向け一般市場開拓を目的とした溶接体験会を開催するとともに、千葉こいけ市において、溶接および切断の実演を行い、多くの受注を得ることができました。

その結果、売上高は20億37百万円（前年同期比24.2%増）、セグメント利益は36百万円（同633.5%増）となりました。

その他

ガス機器においては、大学研究機関向けヘリウム液化機を受注しました。排ガス処理装置に関しては、国内において半導体・液晶メーカーの統廃合が進む中、マーケットのニーズに合わせた新製品の開発を行い、液晶メーカーへの納入を開始しました。海外においては、新製品の拡販に向けて、台湾で半導体および液晶メーカーへの販売活動を開始しました。また、中国で5月に液晶メーカーから複数台の受注に成功しました。

しかしながら、価格競争が激化したことを受け、収益面では十分な成果をあげることができませんでした。

その結果、売上高は1億18百万円（前年同期比31.6%増）、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は538億36百万円で、前連結会計年度末比12億8百万円の増加となりました。

流動資産合計は315億66百万円で、前連結会計年度末比2億85百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金13億円減少の一方、現金及び預金7億17百万円増加とたな卸資産7億61百万円増加によるものです。

固定資産合計は222億70百万円で、前連結会計年度末比9億23百万円の増加となりました。これは主に設備投資による有形固定資産3億65百万円増加、株価の上昇による投資有価証券2億33百万円増加によるものです。

（負債）

流動負債合計は201億38百万円で、前連結会計年度末比1億97百万円の増加となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金1億92百万円増加によるものです。

固定負債合計は75億36百万円で、前連結会計年度末比8億62百万円の増加となりました。これは長期借入金7億4百万円増加によるものです。

（純資産）

純資産合計は261億61百万円で、前連結会計年度末比1億48百万円の増加となりました。これは主に株価の上昇によるその他有価証券評価差額金1億44百万円増加によるものです。

この結果、自己資本比率は45.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成26年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析②次期（平成27年3月期）の見通しを参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が103百万円増加し、利益剰余金が66百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,770	8,488
受取手形及び売掛金	14,031	12,730
商品及び製品	4,991	5,184
仕掛品	1,677	2,267
原材料及び貯蔵品	1,850	1,829
その他	1,208	1,279
貸倒引当金	△248	△213
流動資産合計	31,281	31,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,388	4,385
機械装置及び運搬具(純額)	1,652	1,605
工具、器具及び備品(純額)	429	428
土地	9,387	9,715
リース資産(純額)	823	899
建設仮勘定	39	51
有形固定資産合計	16,721	17,086
無形固定資産		
のれん	27	26
リース資産	6	7
その他	206	202
無形固定資産合計	239	235
投資その他の資産	4,386	4,948
固定資産合計	21,347	22,270
資産合計	52,628	53,836

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,665	11,184
短期借入金	4,323	3,469
1年内返済予定の長期借入金	1,104	1,297
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	255	112
賞与引当金	346	460
役員賞与引当金	46	10
受注損失引当金	—	1
製品保証引当金	42	35
その他	3,117	3,527
流動負債合計	19,941	20,138
固定負債		
社債	60	60
長期借入金	1,833	2,537
役員退職慰労引当金	229	212
退職給付に係る負債	163	161
資産除去債務	14	14
その他	4,373	4,550
固定負債合計	6,673	7,536
負債合計	26,615	27,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,412	16,610
自己株式	△914	△914
株主資本合計	21,884	22,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	926
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	1,238	1,238
為替換算調整勘定	219	42
退職給付に係る調整累計額	152	146
その他の包括利益累計額合計	2,392	2,354
少数株主持分	1,735	1,724
純資産合計	26,013	26,161
負債純資産合計	52,628	53,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,833	9,593
売上原価	6,557	7,005
売上総利益	2,275	2,587
販売費及び一般管理費	2,438	2,532
営業利益又は営業損失(△)	△162	55
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	27	28
受取賃貸料	27	26
持分法による投資利益	—	1
物品売却益	7	9
為替差益	91	—
貸倒引当金戻入額	10	37
その他	9	15
営業外収益合計	178	124
営業外費用		
支払利息	34	34
賃貸費用	13	14
為替差損	—	4
その他	9	20
営業外費用合計	56	72
経常利益又は経常損失(△)	△41	108
特別利益		
固定資産売却益	—	20
役員退職慰労引当金戻入額	1	—
特別利益合計	1	20
特別損失		
固定資産除売却損	1	3
減損損失	—	3
のれん償却額	—	10
事務所移転費用	—	5
その他	—	0
特別損失合計	1	24
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40	104
法人税、住民税及び事業税	17	77
法人税等調整額	62	△2
法人税等合計	79	74
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△120	29
少数株主利益	13	28
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△133	1

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△120	29
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	145
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	423	△193
退職給付に係る調整額	—	△5
その他の包括利益合計	506	△53
四半期包括利益	386	△23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337	△37
少数株主に係る四半期包括利益	48	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,441	3,662	1,639	8,743	89	8,833	—	8,833
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,441	3,662	1,639	8,743	89	8,833	—	8,833
セグメント利益 又は損失 (△)	△124	206	4	87	△1	85	△247	△162

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△247百万円には、のれんの償却額△23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△235百万円及びたな卸資産の調整額△6百万円、その他の調整額18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,566	3,871	2,037	9,475	118	9,593	—	9,593
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,566	3,871	2,037	9,475	118	9,593	—	9,593
セグメント利益 又は損失 (△)	84	177	36	298	△10	287	△231	55

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△231百万円には、のれんの償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251百万円及びたな卸資産の調整額△70百万円、その他の調整額93百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,789	114.4
高压ガス (百万円)	98	99.1
報告セグメント計 (百万円)	3,887	114.0
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	3,887	114.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	3,504	143.8	5,209	115.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,566	103.6
高压ガス (百万円)	3,871	105.7
溶接機材 (百万円)	2,037	124.2
報告セグメント計 (百万円)	9,475	108.4
その他 (百万円)	118	131.6
合計 (百万円)	9,593	108.6

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。